

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
熊本電子ビジネス専門学校	昭和60年12月26日	真開 純洋	〒862-0976 熊本県熊本市中央区九品寺2丁目2-38 (電話) 096-362-5656				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 未来創造学園	平成22年3月2日	吉山 壽一	〒862-0976 熊本県熊本市中央区九品寺2丁目2-38 (電話) 096-362-5656				
目的	本学科は、学校教育法に基づき、時代を生き抜く高い専門性と豊かな人間力の育成を行うとともに、情報システム構築に必要な知識・技術の習得と、今後の社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	ITエンジニア科 (ネットワークエンジニアコース)	平成27年2月19日	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2240	710	1190	340	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
100人 の内数	40人 の内数	3人 の内数	28人 の内数	31人 の内数			
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 履修科目の成績評価は、定期試験を主とし、出席状況、平常の学習状況、レポートの提出状況を加味し総合的に勘案して行う。			
長期休み	■学年始:4月1日～4月8日 ■夏季:7月24日～8月31日 ■冬季:12月24日～1月8日 ■学年末:3月23日～3月31日		卒業・進級条件	・出席率が80%以上であること ・履修科目すべてに合格すること ・学校で定める卒業基準検定に合格すること			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 保護者への連絡並びに三者面談		課外活動	■課外活動の種類 なし ■サークル活動: 無			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 保護者への連絡並びに三者面談 ■就職率 <sup>※1</sup> : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> : 100% ■その他 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	・応用情報技術者試験 ・基本情報技術者試験 ・Oracle Master ・CCNA ・C言語プログラミング能力認定試験 ・情報検定(J検)情報システム試験 ・情報検定(J検)情報活用試験 ・Excel表計算処理技能認定試験			
中途退学の現状	■中途退学者 2名 ■中退率 4% 平成28年4月1日 在学者 56名 (平成28年4月1日 入学者を含む) 平成29年3月31日 在学者 54名 (平成29年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 ・進路変更、学習意欲の低下等 ■中退防止のための取組 担任による個別ガイダンス並びに保護者を交えた面談等						
ホームページ	URL: <a href="http://www.denbi.ac.jp/">http://www.denbi.ac.jp/</a>						

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程編成委員会は、就業先である情報処理の各業界で職務を遂行するために必要な、知識・技術・技能などについて分析し、専門課程に必要な授業科目・授業内容・方法の改善・工夫などについて提言を行う。その提言に基づき、本専門課程において、教育課程等の編成を行い、専門的、かつ実践的な職業教育を行う。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

名前	所属
吉村 遵博	日本アルゴリズム株式会社
岩本 保弘	一般社団法人熊本県情報サービス産業協会
真開 純洋	熊本電子ビジネス専門学校
工藤 茂登巳	熊本電子ビジネス専門学校
藤米田 哲郎	熊本電子ビジネス専門学校
白野 徹	熊本電子ビジネス専門学校

(開催日時)

第1回 平成29年 3月15日 10:30～12:00

第2回 平成29年 7月21日 17:00～18:30

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

ソフトウェア開発企業の講師が、学生にシステム開発の設計からテストまで一連の作業工程を体験させることにより、実務に必要な開発の手順を学ばせ、設計の重要性や各工程の要点を学生に習得させる。実践形式の実習・演習等を組み入れ、学生自身が企業の方と関わりを持つ中で、実際の業務内容について理解を深め、各業界の情報システム開発・情報システム運用管理等で働くことの意義を学ばせる。

科目名	科目概要	連携企業等
システム開発演習	ソフトウェア開発企業の講師が、学生にシステム開発の設計からテストまで一連の作業工程を体験させることにより、実務に必要な開発の手順を学ばせ、設計の重要性や各工程の要点を学生に習得させる。実践形式の実習・演習等を組み入れ、学生自身が企業の方と関わりを持つ中で、実際の業務内容について理解を深め、各業界の情報システム開発・情報システム運用管理等で働くことの意義を学ばせる。	日本アルゴリズム株式会社

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

専攻分野に係わる教員の資質(知識、技術、技能)が何かを関連する企業や関連団体等に広く意見を伺い、効果的な指導がなされるよう研修計画を立て実施する。また、学級運営力の向上や教育法の習得等の研修にも併せて取り組んでいく。研修機会としては、関連する企業や関連団体等から招いた講師による学内研修や、各種団体が開催する学外研修が考えられる。

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年8月1日現在

名前	所属
吉村 遵博	日本アルゴリズム株式会社
有働 賢二	株式会社ぐるぐる
小林 洋平	株式会社フルスケール
山内 光代	株式会社産業開発研究所
玉城 直	熊本駅前ビル株式会社
藤本 稔	慶誠高等学校
緒方 和美	在校生保護者
工藤 知保	平成9年度卒業生

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://www.denbi.ac.jp/about/publishing.html>

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.denbi.ac.jp/about/publishing.html>

## 授業科目等の概要

(工業専門課程ITエンジニア科ネットワークエンジニアース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			コンピュータテクノロジー	コンピュータを構成する様々な装置やコンピュータ内部の情報表現方法、2進数、オペレーティングシステムの機能、コンピュータの動作手順、ソフトウェアの種類などを学ぶ。	1通	200	8	○			○		○		
○			データベースとネットワーク	データベースソフトの機能、データベースの構築や操作方法や、ネットワークの仕組み、セキュリティの基礎を学ぶ。	1通	80	3	○			○		○		
○			ITマネジメント	経営戦略、ソフトウェア業界の関連法規、財務会計、システム開発を行う上で必要な開発工程の見積り、日程・進捗管理、リスク・サービス管理について学ぶ。	1通	120	5	○			○		○		
○			C言語	C言語を用いて、アルゴリズムと連携しC言語の文法やデータ構造の基礎を講義と実習で学び、プログラミングの基礎能力を身に付ける。	1通	240	10	△	○		○		○		
○			アルゴリズム	プログラムの処理手順である「アルゴリズム」と、プログラムが扱うデータ形式「データ構造」について学ぶ。	1通	120	5	○	△		○		○		
○			表現技法	履歴書を書くことを通して客観的な自己分析を促し、履歴書を完成させて行きます。プレゼンテーションや面接試験などで、目的に応じたアピールができるよう、どのように自己表現すべきか表現方法を学ぶ。	1後	40	2	○	△		○			○	
○			一般教養	就職活動に必要な履歴書の書き方、身だしなみ、面接練習、SPI対策で就職内定を勝ち取ることができる力を身につける。	1通	80	3	○	△		○		○		
○			オラクルデータベース操作	オラクル・アカデミック・イニシアティブ公式カリキュラムを導入し、データベースソフトオラクルを使用し、データベースの基礎とSQL言語を学ぶ。	1後	80	3	△	○		○		○		
○			ネットワーク基礎 (CCNA)	パソコンやプリンタを相互に結ぶ「LAN」と呼ばれる技術や「インターネット技術」の仕組みをわかりやすく学習する。	1後	80	3	△	○		○		○		
○			ビジネスアプリケーション	マイクロソフト「Office」を使用して、Word・Excel・PowerPointの実践的な使い方を修得し、ソフトウェアの活用技術を学ぶ。	1後	40	2	△	○		○		○		

○		ビジネスマナー	就職活動に向けての身だしなみ（スーツ）、基本動作（姿勢・お辞儀・椅子の立ち座り・歩き方・視線など）、正しい言葉づかい（敬語）を身につけ、自己紹介等のスピーチの練習を行う。	1通	80	3	△	○	○	○			
○		社会人基礎(NIE)	毎日、新聞から記事をスクラップし、週1回感想や考えをまとめ、人前で発表するなど、新聞記事を題材とした活動を通して、知る力、考える力、表現する力、コミュニケーション力など社会人として必要な力を身につける。	1前	40	2	△	○	○	○			
○		ビジネス実務	社会人として、職場におけるマナー、話し方等、基本的なルールを身に付け会社での適切な判断・行動ができるように学習する。	2通	70	3	○	△	○	○			
○		システム開発演習	システム開発の設計、プログラミング、テストの一連の作業工程を体験することで、開発の手順を知り、設計の重要性や各工程の要点を把握し、システム開発の理解を深める。	2前	36	1	△	○	○		○	○	
○		Java基礎	Webや携帯電話など、幅広い分野で使用されているJava言語について、オブジェクト指向を踏まえたプログラミング技術を学ぶ。	2前	70	3	△	○	○	○			
○		Java応用実習	GUI、サーブレット、データベースの利用方法を実習を通して学ぶ。	2後	120	3		△	○	○	○		
○		Visual Basic	優れた開発環境を持つVB.NETについて、基礎から学び、データベースを操作する手法までを修得する。	2通	210	8	△	○	○		○		
○		オラクルデータベース管理	対象となる業務を分析し、適切なデータベースを設計・構築・管理する能力を修得する。	2前	70	3	△	○	○	○			
○		データベース構築実習	実習を通し、データベースを設計・構築します。ORACLEだけではなく他のデータベースの構築も行う。	2前	80	2		△	○	○	○		
○		情報デザイン実習	Webページ作成の基本となるHTMLやCSS、JavaScriptの使い方を学び、ブラウザを通しUIの重要性を理解させる。	2通	140	4		△	○	○	○	○	
○		ネットワーク構築(CCNA)	小規模ネットワークの設置・設定・運営の方法を実習を交えながら学ぶ。	2通	244	10	△	○	○	○			
合計				21科目	2,240単位時間( 86単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	20週

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
熊本電子ビジネス 専門学校	昭和60年12月26日	真開 純洋	〒862-0976 熊本県熊本市中央区九品寺2丁目2-38 (電話) 096-362-5656				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 未来創造学園	平成22年3月2日	吉山 壽一	〒862-0976 熊本県熊本市中央区九品寺2丁目2-38 (電話) 096-362-5656				
目的	本学科は、学校教育法に基づき、時代を生き抜く高い専門性と豊かな人間力の育成を行うと共に、情報システム構築に必要な知識・技術の習得と、今後の社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
工業	工業専門課程	ITエンジニア科 (スマートフォンアプリコース)		平成27年2月19日	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2240	710	1190	340	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員	専任教員数		兼任教員数		総教員数
100 人の内数		40 人の内数	3 人の内数		28 人の内数		31 人の内数
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■1学期:4月1日～9月30日</li> <li>■2学期:10月1日～3月31日</li> </ul>		成績評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績表: 有</li> <li>■成績評価の基準・方法 履修科目の成績評価は、定期試験を主とし、出席状況、平常の学習状況、レポートの提出状況を加味し総合的に勘案して行う。</li> </ul>		
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学年始:4月1日～4月8日</li> <li>■夏季:7月24日～8月31日</li> <li>■冬季:12月24日～1月8日</li> <li>■学年末:3月23日～3月31日</li> </ul>		卒業・進級条件		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率が80%以上であること</li> <li>・履修科目すべてに合格すること</li> <li>・学校で定める卒業基準検定に合格すること</li> </ul>		
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■クラス担任制: 有</li> <li>■長期欠席者への指導等の対応 保護者への連絡並びに三者面談</li> </ul>		課外活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>■課外活動の種類 なし</li> <li>■サークル活動: 無</li> </ul>		
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主な就職先、業界等 保護者への連絡並びに三者面談</li> <li>■就職率<sup>※1</sup>: 100%</li> <li>■卒業者に占める就職者の割合<sup>※2</sup>: 100%</li> <li>■その他</li> </ul> <p>(平成 28 年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)</p>		主な資格・検定等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・応用情報技術者試験</li> <li>・基本情報技術者試験</li> <li>・Oracle Master</li> <li>・CCNA</li> <li>・C言語プログラミング能力認定試験</li> <li>・情報検定(J検)情報システム試験</li> <li>・情報検定(J検)情報活用試験</li> <li>・Excel表計算処理技能認定試験</li> </ul>		
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中途退学者 2名</li> <li>平成28年4月1日 在学者 56名 (平成28年4月1日 入学者を含む)</li> <li>平成29年3月31日 在学者 54名 (平成29年3月31日 卒業者を含む)</li> <li>■中途退学の主な理由 ・進路変更、学習意欲の低下等</li> <li>■中退防止のための取組 担任による個別ガイダンス並びに保護者を交えた面談等</li> </ul>						
ホームページ	URL: <a href="http://www.denbi.ac.jp/">http://www.denbi.ac.jp/</a>						



## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程編成委員会は、就業先である情報処理の各業界で職務を遂行するために必要な、知識・技術・技能などについて分析し、専門課程に必要な授業科目・授業内容・方法の改善・工夫などについて提言を行う。その提言に基づき、本専門課程において、教育課程等の編成を行い、専門的、かつ実践的な職業教育を行う。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

名 前	所 属
吉村 遵博	日本アルゴリズム株式会社
岩本 保弘	一般社団法人熊本県情報サービス産業協会
真開 純洋	熊本電子ビジネス専門学校
工藤 茂登巳	熊本電子ビジネス専門学校
藤米田 哲郎	熊本電子ビジネス専門学校
白野 徹	熊本電子ビジネス専門学校

(開催日時)

第1回 平成29年 3月15日 10:30～12:00

第2回 平成29年 7月21日 17:00～18:30

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

ソフトウェア開発企業の講師が、学生にシステム開発の設計からテストまで一連の作業工程を体験させることにより、実務に必要な開発の手順を学ばせ、設計の重要性や各工程の要点を学生に習得させる。実践形式の実習・演習等を組み入れ、学生自身が企業の方と関わりを持つ中で、実際の業務内容について理解を深め、各業界の情報システム開発・情報システム運用管理等で働くことの意義を学ばせる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
システム開発演習	ソフトウェア開発企業の講師が、学生にシステム開発の設計からテストまで一連の作業工程を体験させることにより、実務に必要な開発の手順を学ばせ、設計の重要性や各工程の要点を学生に習得させる。実践形式の実習・演習等を組み入れ、学生自身が企業の方と関わりを持つ中で、実際の業務内容について理解を深め、各業界の情報システム開発・情報システム運用管理等で働くことの意義を学ばせる。	日本アルゴリズム株式会社

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

専攻分野に係わる教員の資質(知識、技術、技能)が何かを関連する企業や関連団体等に広く意見を伺い、効果的な指導がなされるよう研修計画を立て実施する。また、学級運営力の向上や教育法の習得等の研修にも併せて取り組んでいく。研修機会としては、関連する企業や関連団体等から招いた講師による学内研修や、各種団体が開催する学外研修が考えられる。

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年8月1日現在

名 前	所 属
吉村 遵博	日本アルゴリズム株式会社
有働 賢二	株式会社ぐるぐる
小林 洋平	株式会社フルスケール
山内 光代	株式会社産業開発研究所
玉城 直	熊本駅前ビル株式会社
藤本 稔	慶誠高等学校
緒方 和美	在校生保護者
工藤 知保	平成9年度卒業生

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://www.denbi.ac.jp/about/publishing.html>

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.denbi.ac.jp/about/publishing.html>

授業科目等の概要

(工業専門課程ITエンジニア科スマートフォンアプリコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			コンピュータテクノロジー	コンピュータを構成する様々な装置やコンピュータ内部の情報表現方法、2進数、オペレーティングシステムの機能、コンピュータの動作手順、ソフトウェアの種類などを学ぶ。	1通	200	8	○			○	○			
○			データベースとネットワーク	データベースソフトの機能、データベースの構築や操作方法や、ネットワークの仕組み、セキュリティの基礎を学ぶ。	1通	80	3	○			○	○			
○			ITマネジメント	経営戦略、ソフトウェア業界の関連法規、財務会計、システム開発を行う上で必要な開発工程の見積り、日程・進捗管理、リスク・サービス管理について学ぶ。	1通	120	5	○			○	○			
○			C言語	C言語を用いて、アルゴリズムと連携しC言語の文法やデータ構造の基礎を講義と実習で学び、プログラミングの基礎能力を身に付ける。	1通	240	10	△	○		○	○			
○			アルゴリズム	プログラムの処理手順である「アルゴリズム」と、プログラムが扱うデータ形式「データ構造」について学ぶ。	1通	120	5	○	△		○	○			
○			表現技法	履歴書を書くことを通して客観的な自己分析を促し、履歴書を完成させて行きます。プレゼンテーションや面接試験などで、目的に応じたアピールができるよう、どのように自己表現すべきか表現方法を学ぶ。	1後	40	2	○	△		○		○		
○			一般教養	就職活動に必要な履歴書の書き方、身だしなみ、面接練習、SPI対策で就職内定を勝ち取ることができる力を身につける。	1通	80	3	○	△		○	○			
○			オラクルデータベース操作	オラクル・アカデミック・イニシアティブ公式カリキュラムを導入し、データベースソフトオラクルを使用し、データベースの基礎とSQL言語を学ぶ。	1後	80	3	△	○		○	○			
○			ネットワーク基礎 (CCNA)	パソコンやプリンタを相互に結ぶ「LAN」と呼ばれる技術や「インターネット技術」の仕組みをわかりやすく学習する。	1後	80	3	△	○		○	○			
○			ビジネスアプリケーション	マイクロソフト「Office」を使用して、Word・Excel・PowerPointの実践的な使い方を修得し、ソフトウェアの活用技術を学ぶ。	1後	40	2	△	○		○	○			

○		ビジネスマナー	就職活動に向けての身だしなみ（スーツ）、基本動作（姿勢・お辞儀・椅子の立ち座り・歩き方・視線など）、正しい言葉づかい（敬語）を身につけ、自己紹介等のスピーチの練習を行う。	1通	80	3	△	○	○	○				
○		社会人基礎(NIE)	毎日、新聞から記事をスクラップし、週1回感想や考えをまとめ、人前で発表するなど、新聞記事を題材とした活動を通して、知る力、考える力、表現する力、コミュニケーション力など社会人として必要な力を身につける。	1前	40	2	△	○	○	○				
○		ビジネス実務	社会人として、職場におけるマナー、話し方等、基本的なルールを身に付け会社での適切な判断・行動ができるように学習する。	2通	70	3	○	△	○	○				
○		システム開発演習	システム開発の設計、プログラミング、テストの一連の作業工程を体験することで、開発の手順を知り、設計の重要性や各工程の要点を把握し、システム開発の理解を深める。	2前	36	1	△	○	○			○	○	
○		Java基礎	Webや携帯電話など、幅広い分野で使用されているJava言語について、オブジェクト指向を踏まえたプログラミング技術を学ぶ。	2前	70	3	△	○	○	○				
○		Java応用実習	GUI、サブレット、データベースの利用方法を実習を通して学ぶ。	2後	120	3		△	○	○		○		
○		Visual Basic	優れた開発環境を持つVB.NETについて、基礎から学び、データベースを操作する手法までを修得する。	2通	210	8	△	○	○				○	
○		オラクルデータベース管理	対象となる業務を分析し、適切なデータベースを設計・構築・管理する能力を修得する。	2前	70	3	△	○	○	○				
○		データベース構築実習	実習を通し、データベースを設計・構築します。ORACLEだけではなく他のデータベースの構築も行う。	2前	80	2		△	○	○		○		
○		情報デザイン実習	Webページ作成の基本となるHTMLやCSS、JavaScriptの使い方を学び、ブラウザを通しUIの重要性を理解させる。	2通	140	4		△	○	○		○	○	
○		Androidプログラミング	Androidプラットフォームのアーキテクチャを理解し、オープンソースによる携帯アプリケーション開発技術を身に付ける。	2通	244	10	△	○	○		○			
合計				21科目	2,240単位時間( 86単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	20週